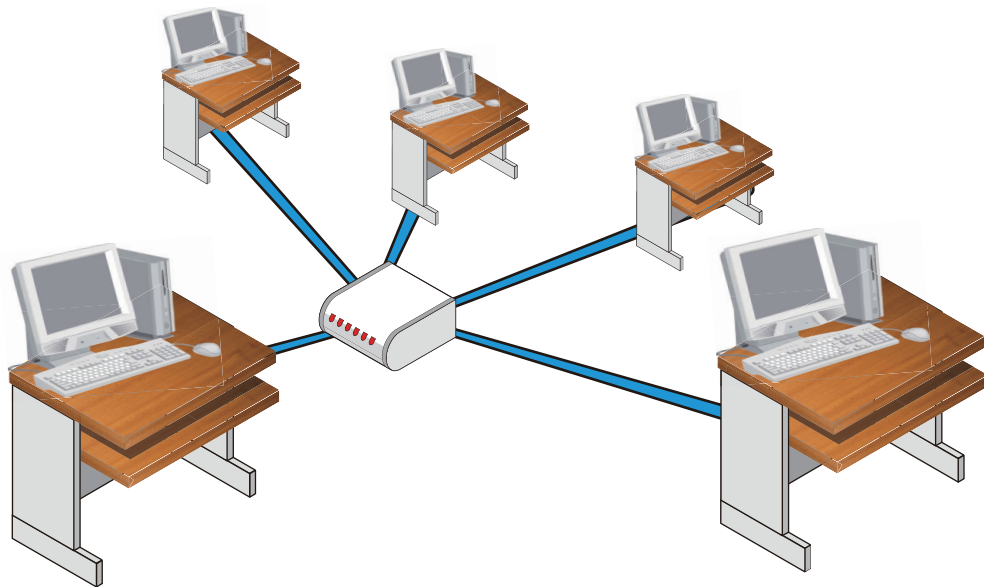


双方向プログラミング解説・操作方法

クライアント ブロックプログラム編



双方向ネットワークアプリ : 通信開始

ファイル ▾ 接続処理 その他 ▾

クライアント 名前 生徒番号 実行

ページの再読み込みを行うとプログラムは初期化されます。ご注意ください！

制御

送信

音

設定

フォント・画面

送信プログラム

サーバを 21 に設定する

パスワードを 1234 に設定する

メッセージを 色にする

メッセージ背景色を 色にする

フォントサイズを 20 にする

もし ~なら 時刻が 12 時より前

YES こんにちは！ を番号 21 に送信する

No スタンプ: 1 番を 21 に送る

16時35分25秒: 21へ送信
こんにちは！

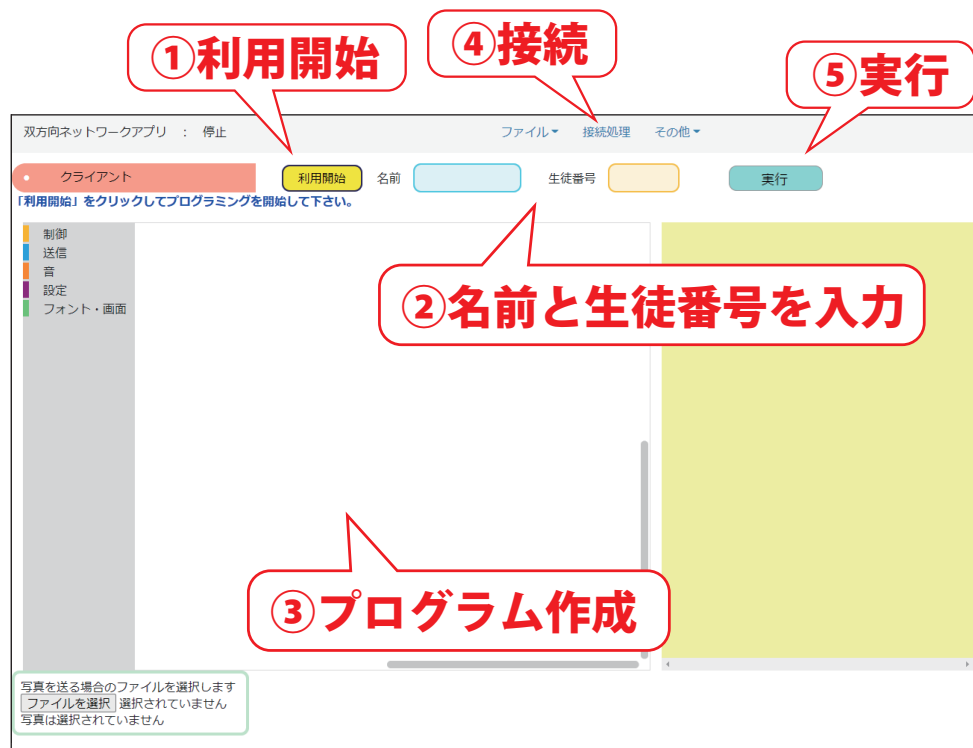
16時35分45秒: 21へ送信
こんにちは！

16時35分54秒: 久富(21) から受信


16時36分17秒: 21へ送信


写真を送る場合のファイルを選択します
ファイルを選択 | 選択されていません
写真は選択されていません

プログラミングの流れ



※生徒番号はローカル IP アドレスでも可（IP アドレスの調べ方は 6 ページを参照ください）

①「利用開始」を押し、ネットワークに参加する（P.2）



②名前と生徒番号を入力



③プログラムを作成する（P.3）



④接続処理を行う（P.5）

光センサを手で覆って画面のセンサ値が変動すれば接続されています

👉重要

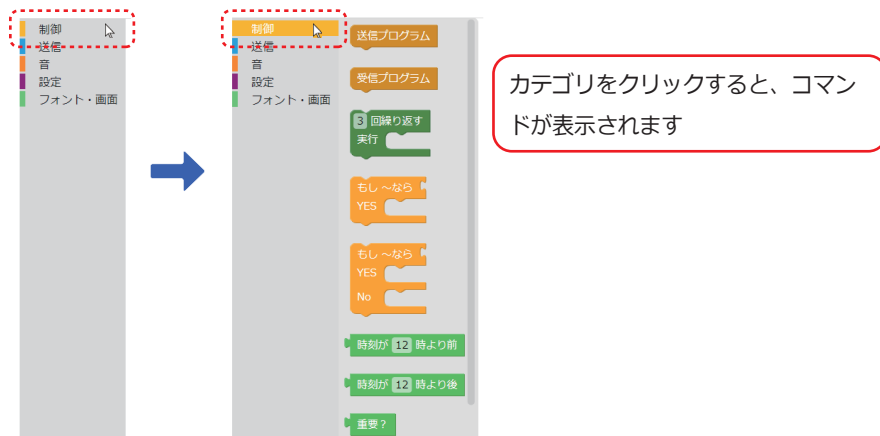


⑤作成したプログラムを実行する

プログラムの作成

● コマンドの配置

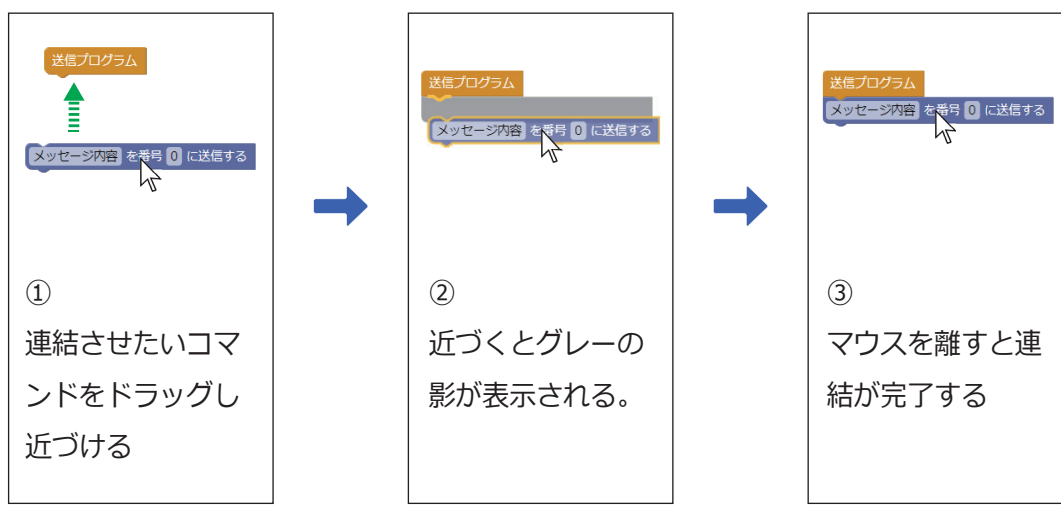
① コマンドを表示



② 配置

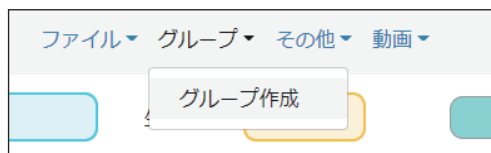


● コマンドの連結



グループ送信

- ①メニューより「グループ」→「グループ作成」をクリック



- ②グループ番号（1～3）を選択し、生徒番号を追加する。

①

グループ送信するためのグループの設定を行います。
生徒番号を入力し「追加」ボタンを押し追加して下さい。

グループ1 ▼

生徒番号

追加

削除はリストから削除する生徒番号を選択し、「削除」ボタンを押して下さい

削除

②

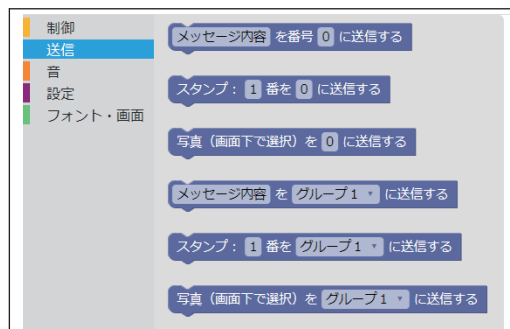
③

閉じる

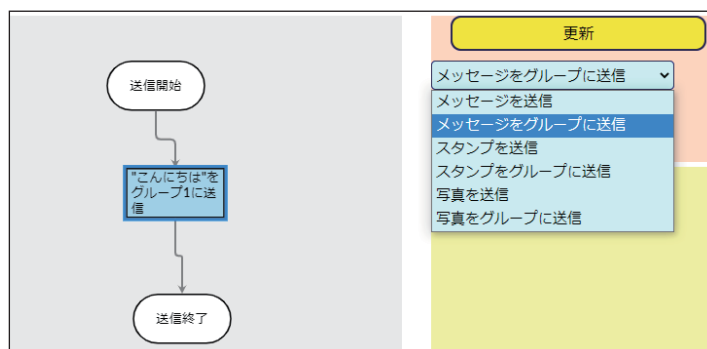


- ③プログラムを作成する。

ブロックの場合



フローチャートの場合



プログラム例

●送信プログラム

・メッセージを送信

送信プログラム
こんにちは！ を番号 20 に送信する

送信プログラム
こんにちは。 を番号 192.168.144.20 に送信する

・スタンプを送信

送信プログラム
スタンプ： 1 番を 20 に送る

送信プログラム
スタンプ： 1 番を 192.168.144.20 に送る

・写真を送信

送信プログラム
写真（画面下で選択）を 20 に送信する

送信プログラム
写真（画面下で選択）を 192.168.144.20 に送信する

・プログラムを送信

送信プログラム
プログラムデータ（画面下で選択）を 20 に送信する

送信プログラム
プログラムデータ（画面下で選択）を 192.168.144.20 に送信する

送信するプログラムはあらかじめ計測制御の「LED プログラミング」、「メロディプログラミング」で作成し、ファイルへ保存を行ったファイルを指定します

・3回送信を繰り返す

送信プログラム
3 回繰り返す
実行 こんにちは！ を番号 20 に送信する

・時刻によって内容を変えて送信

送信プログラム
もし ~ なら 時刻が 12 時より前
YES おはよう を番号 20 に送信する
No こんにちは！ を番号 20 に送信する

・サーバを設定して送信

送信プログラム
サーバを 15 に設定する
こんにちは！ を番号 20 に送信する

・パスワードを設定して送信

送信プログラム
パスワードを 1234 に設定する
こんにちは！ を番号 20 に送信する

・重要なメッセージとして送信

送信プログラム
重要なメッセージである
こんにちは！ を番号 20 に送信する

●受信プログラム

・文字の大きさを変える

受信プログラム
フォントサイズを 18 にする

・文字の色を変える

受信プログラム
メッセージを 色にする

・受信メッセージの背景色を変える

受信プログラム
メッセージ背景色を 色にする

・実行画面の背景色を変える

受信プログラム
画面背景色を 色にする

・受信時音を鳴らす

受信プログラム
音 1 を鳴らす

・受信メッセージの背景色を変える

受信プログラム
メッセージ背景色を 色にする

・重要なメッセージかどうかで表示を変える

受信プログラム
もし ~ なら 重要？
YES メッセージを 色にする
No メッセージを 色にする

・送信元の生徒番号によって表示を変える

受信プログラム
もし ~ なら 生徒番号が 10 番？
YES メッセージを 色にする
No メッセージを 色にする

接続処理

●接続手順

①本体の電源を OFF にする



②USB ケーブルを接続する



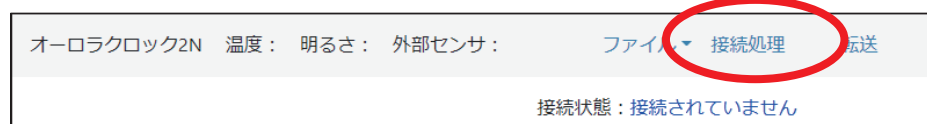
③本体の電源を ON にする

電源を ON にすると LED が白く
2 秒程度点灯します

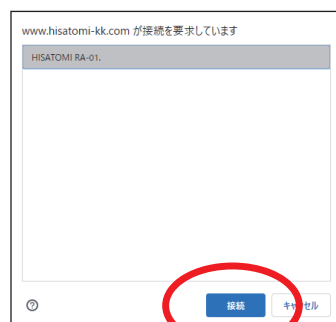


④アプリの接続処理を行う

「接続処理」をクリックします



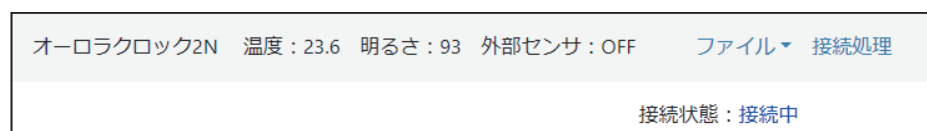
UC-7/8 を選択し「接続」をクリックします



「接続処理」をクリックしても左図のような接続画面が表示されない場合

- 1, ブラウザのバージョンが最新かどうか確認して下さい。(chrome、Edge の場合バージョン 89 以降であればご使用可能です)
- 2, システム環境で使用できない設定の可能性があります。システム管理者にお問い合わせ下さい。

温度、明るさが表示され、接続状態が" 接続中" に変われば接続完了です



光センサを手で覆って画面のセンサ値が変動すれば接続されています

その他機能について

●保存・読み込み

お使いのハードウェア本体へ保存・読み込みする「ブラウザへ保存」と、外部ファイルへ保存・読み込みする方法の2通りあります。

用途等使い分けしてご使用ください。

ブラウザへ保存・読み込み・・・ブラウザの持つストレージへ保存、読み込みします。
ファイルへ保存するよりも簡単に取り扱いできますが、セキュリティによりストレージがリセットされ消える可能性がありますので、実環境にてお試しいただくことをお勧めいたします。

ファイルへ保存・読み込み・・・ファイルとして保存、読み込みします。
初期環境ではダウンロードフォルダに保存されますので、任意でファイルをコピー等して下さい。
(設定により保存先を選択できるように変更することも可能)

●レポート作成

プログラムレポートを印刷することができます。
印刷環境によって PDF に保存することも可能です。

その他

●電池の使用について

パソコンと接続した USB ケーブルから電源を取るので、電池や AC アダプタを使わずに授業ができます。

授業毎に電池を外してください。

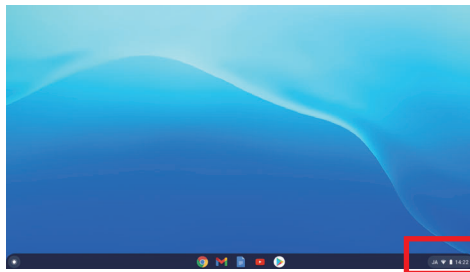
電池を入れた状態でスイッチをオンにすると LED が点灯していなくても本体が動作しているので、電池を消耗してしまいます。

自宅で使う場合、電池よりも経済的な AC アダプタ (DC-05) の使用をお勧めします。

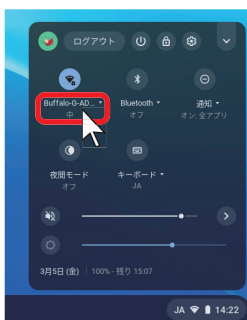
IP アドレスの調べ方（ローカル IP）

■Chromebook の場合

- ① 画面右下の  をクリック



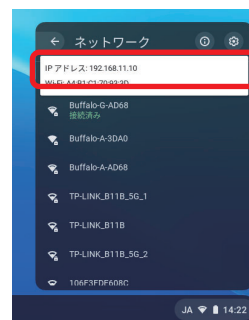
- ② 無線 LAN をクリック



- ③ 「①」をクリック

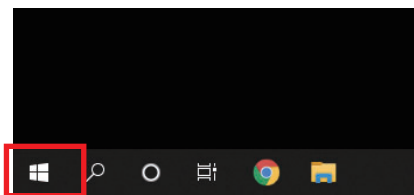


- ④ IP アドレスが表示されます



■Windows10 の場合

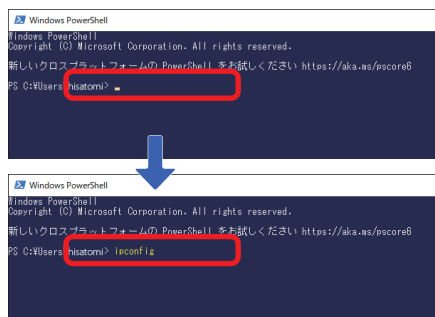
- ① 画面左下の  をクリック



- ② Windows PowerShell をクリック



- ③ カーソル位置で「ipconfig」と入力し「ENTER」キーを押す



- ④ IP アドレスが表示されます

